

平面図

2020年4月19日
 ○○市建築指導課協議 担当○○氏
 「用途変更部の床面積が200㎡を超えないので、『用途変更』の届け出は不要とのこと」

2020年4月20日
 ○○市消防署予防課協議 担当○○氏
 「避難経路と避難口誘導灯の設置、消防用設備の事前確認」

2020年4月21日
 ○○県保育課協議 担当○○氏
 「認可外保育施設整備内容の事前確認」

2020年4月22日
 ○○市保健所協議 担当○○氏
 「定員数と調理施設の関係について事前確認」

関係官庁への事前協議・確認内容を記載してください

- ・用途地域: ○○
- ・容積率: ○○
- ・建蔽率: ○○
- ・防火地域など: ○○
- ・確認及び完了月日など: ○○
- ・耐火構造など: ○○
- ・構造種別: ○○
- ・階数: ○○(保育所設置階: ○○)
- ・etc

《 保育所整備の図面からは、以下の内容が確認できること 》

- ① 保育施設名称、図面名(階数)、縮尺、方位、設計した建築士事務所及び登録番号、建築士氏名及び資格番号、作図日・変更日
- ② 子どもの年齢と人数に応じた保育室の位置・面積
- ③ 便器、収納家具、手洗器などの数、配置
- ④ 窓の位置、開閉方式(引違い・開き・はめ殺し)
- ⑤ 避難口(玄関・外部への出口・階段等へ出口) 避難経路
- ⑥ 採光・換気の計算表(採光補正係数の算定式含)
- ⑦ 避難階段類(屋内避難階段、屋内特別避難階段等)を建築基準法による種別により明示

- 注1) 平面図に助成申請範囲外の部屋等がある場合は明示 (共有部分、別事業部分などを色や斜線で明示)
 注2) 既存改修にて「用途変更」の届出の有無等について明示
 注3) 区画、防火上主要な間仕切り壁については、個別の対応を明示

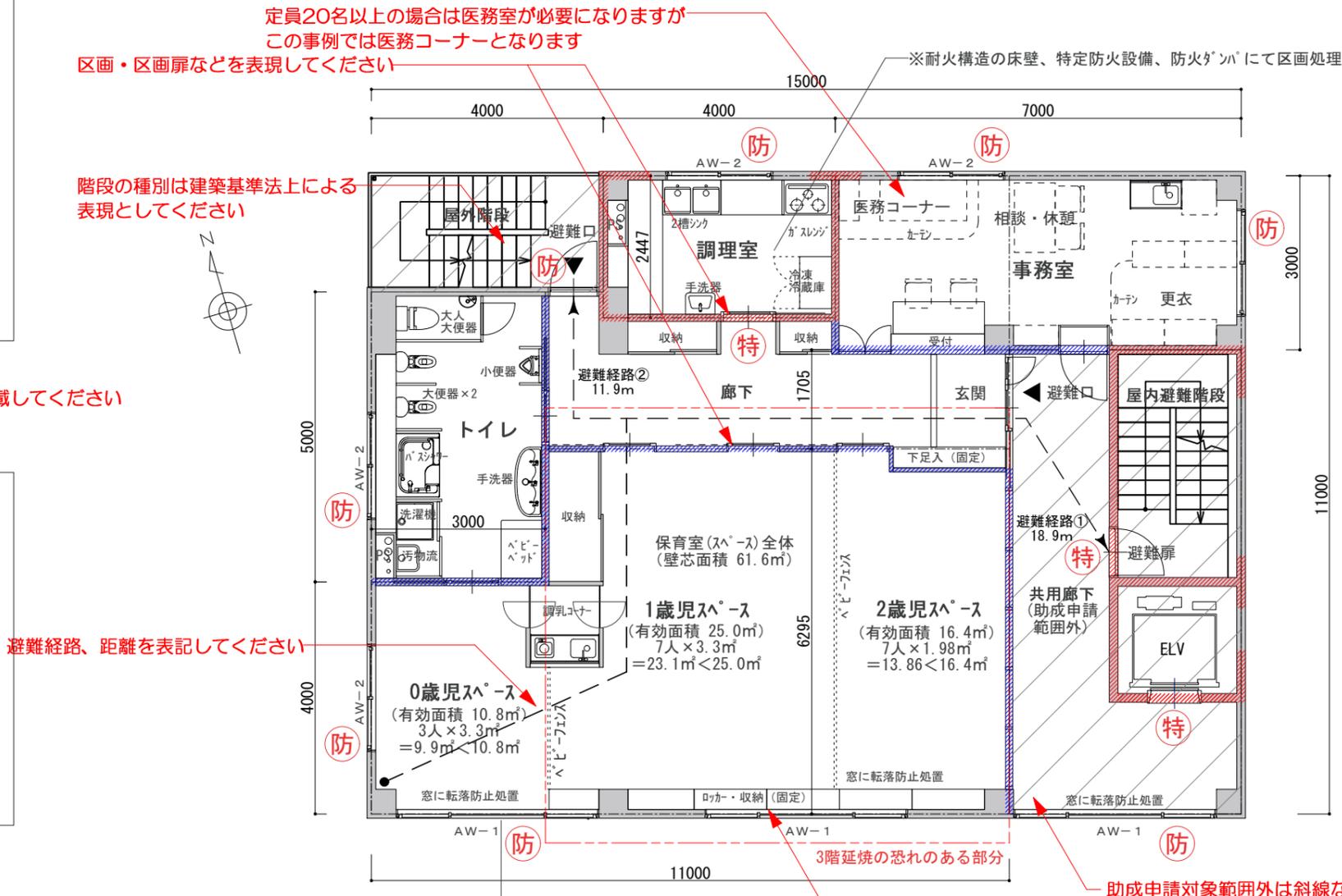
採光・換気・排煙などは計算式
 使用している窓が判断できるように
 表現してください。
 緩和などを利用している場合はそれが
 判断できる表現にしてください

□ 採光計算
 保育室 全体
 必要採光面積 $62.6/5=12.52\text{m}^2$
 <AW-1>
 採光面積 $H2.0 \times W3.434 \times 2\text{箇所}=13.74\text{m}^2$
 補正係数 $(8.9/2.2) \times 10-1=39.9 \rightarrow 3.0\text{倍}$
 $13.74 \times 3.0\text{倍}=41.22\text{m}^2 > 12.52\text{m}^2$ OK

□ 換気計算
 保育室 全体
 必要換気面積 $62.6/20=3.13\text{m}^2$
 <AW-1>
 換気面積 $H2.0 \times W0.874 \times 4\text{箇所}=6.87\text{m}^2$
 $6.87\text{m}^2 > 3.13\text{m}^2$ OK

□ 排煙について
 平成12年告示1436第4号ニ(四)の
 緩和規定を利用し
 居室100㎡以下にて区画のうえ
 下地仕上共不燃のため排煙設備免除

- 凡例
- 特 : 特定防火設備
 - 防 : 防火設備
 - 斜線 : 防火区画
 - 114条区画
 - 斜線は助成申請範囲外
 - 延焼の恐れのある部分



避難経路、距離を表記してください

採光の計算に必要な寸法です

固定家具は固定と明記してください

助成申請対象範囲外は斜線などで分かりやすくしてください

3階平面図 S=1/100

各区画については自治体により解釈が異なる場合があるため、確認してください。協議により、区画などが不要ない場合は「協議により必要ないことを確認」など明記してください。

助成申請対象が1階の場合は「配置図兼1階平面図」としての作図でも構いません